【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公表番号】特表2002-541338(P2002-541338A)
【公表日】平成14年12月3日(2002.12.3)
【出願番号】特願2000-608822(P2000-608822)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｍ　14/26　　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ 101/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｍ　14/26
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＲ
Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＺ
Ｃ０８Ｌ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月30日(2006.10.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　高吸収性重合体の塗布を有する基体の複合物を作るための方法であって、
（ａ）　少なくとも１つの単量体から形成される重合体の水溶液を調製するステップを含み、前記重合体は、放射源からの放射にさらされると高吸収性重合体になることができ、さらに
（ｂ）　前記水溶液を基体に塗布するステップと、
（ｃ）　塗布された前記水溶液を有する前記基体を前記放射源からの放射に十分な時間さらして、前記重合体を高吸収性重合体に変換するステップと、
（ｄ）　前記基体に接着された高吸収性重合体の塗布を有する基体の複合物を入手するステップとを含む、方法。
【請求項２】　前記重合体は、放射にさらされると架橋して前記高吸収性重合体を形成する官能基を有する、請求項１に記載の基体の複合物を作るための方法。
【請求項３】　前記高吸収性重合体はカルボン酸単量体およびヒドロキシル単量体から形成される、請求項１に記載の基体の複合物を作るための方法。
【請求項４】　前記高吸収性重合体は網目状架橋によって形成される、請求項３に記載の基体の複合物を作るための方法。
【請求項５】　前記網目状架橋は網目状架橋剤によって達成される、請求項４に記載の基体の複合物を作るための方法。
【請求項６】　前記網目状架橋剤はアルキロールメタクリルアミドである、請求項５に記載の基体の複合物を作るための方法。
【請求項７】　前記高吸収性重合体は、カルボン酸単量体、ヒドロキシル単量体およびアクリルアミド単量体から形成される、請求項１に記載の基体の複合物を作るための方法。
【請求項８】　前記放射は、赤外線、可視光線、紫外線、Ｘ線、ガンマ線、ベータ粒子、高エネルギ電子、熱およびその組合せからなる群から選択される、請求項１に記載の

基体の複合物を作るための方法。

【請求項９】　前記放射は熱であり、前記方法は、

（ａ）　少なくとも１つの単量体から形成される重合体の水溶液を調製するステップを含み、前記重合体は加熱されると高吸収性重合体になることができ、さらに前記方法は、

（ｂ）　前記水溶液を基体に塗布するステップと、

（ｃ）　前記水溶液を塗布された前記基体を十分な温度で十分な時間加熱して、前記重合体を高吸収性重合体に変換するステップと、

（ｄ）　前記基体に接着された高吸収性重合体の塗布を有する基体の複合物を入手するステップとを含む、請求項８に記載の方法。

【請求項１０】　高吸収性重合体の塗布を有する基体を含む複合物であって、前記重合体は前記基体に接着され、前記高吸収性重合体は、十分な時間放射にさらされて高吸収性重合体に変換した、放射処理された重合体を含む、複合物。

【請求項１１】　前記重合体は、放射にさらされると架橋して前記高吸収性重合体を形成する官能基を有する、請求項１０に記載の複合物。

【請求項１２】　請求項１０に記載の複合物を含む吸収性生成物。

【請求項１３】　前記放射は、赤外線、可視光線、紫外線、Ｘ線、ガンマ線、ベータ粒子、高エネルギ電子、熱およびその組合せからなる群から選択される、請求項１０に記載の複合物。

【請求項１４】　請求項１３に記載の複合物を含む吸収性生成物。

【請求項１５】　前記生成物は、農業用品、光ファイバケーブル、電力ケーブル、防水テープ、絶縁材、女性用衛生用品、成人用失禁用品、乳児用おむつ、ペーパタオル、コンクリートブロック間の封止用複合物、包帯、外科用スポンジ、肉のトレイおよびバスマットからなる群から選択される、請求項１４に記載の吸収性生成物。